

平成 21 年 2 月 10 日

各 位

東京都港区虎ノ門四丁目 1 番 28 号
虎ノ門タワーズオフィス
フィンテック グローバル株式会社
代表取締役社長 玉 井 信 光
(コード番号：8789 東証マザーズ)
問合せ先：経営戦略本部 財務部長 鷺本 晴 吾
電 話 番 号：(03) 5733-2121

貸倒引当金繰入の計上及び有価証券運用損計上に関するお知らせ

この度、当社において、連結及び単体決算で販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入を、また連結決算において営業外費用に有価証券運用損を計上いたしますので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 貸倒引当金繰入の計上及びその内容

東京都内の不動産開発プロジェクト案件を行う特別目的会社への貸付金500百万円について、当該特別目的会社が所有する物件価値から当該貸付金の回収可能性を検討した結果、第1四半期連結及び単体決算において販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入500百万円を計上することいたしました。

なお、第1四半期決算において、上記の案件と他の案件等との貸倒引当金繰入額の合計額は、連結決算で1,195百万円、単体決算で1,408百万円となります。

2. 有価証券運用損の計上及びその内容

子会社Stellar Capital AGが行う資金運用において、売却損及び評価損が計上されたことにより、第1四半期連結決算において営業外費用に有価証券運用損433百万円を計上することいたしました。

3. 今後の見通し

金融市場の混乱が続くなか、景気は急激に減速しており、不動産取引の停滞に伴う不動産市況の調整についても、依然として予断を許さない状況にあります。また、当社は従来の収益源であった開発型不動産証券化に代わる新たな収益源の探索を行っておりますが、業績予想のためのこれらの見極めは現段階において非常に困難であると考えております。このため、平成20年11月14日に発表した業績予想については、当第1四半期の業績及び当社の今後の営業展開を踏まえ、さらに精査する必要があると考えております。従いまして、平成21年9月期の第2四半期及び通期（連結・単体）の業績予想に関しましては、精査が終わり確定次第、公表させていただく所存です。

以 上